

レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第71回ICANN報告会:2024年12月9日
株式会社インターリンク
JACOB WILLIAMS



81

ANNUAL
GENERAL
MEETING

ISTANBUL

<https://meetings.icann.org/en/meetings/icann81/herobanner.png>



ICANN81: Annual General Meeting (年次総会): レジストリ・レジストラ関連報告



GNSO: RySG Membership Meeting – (レジストリ部会)

2024年11月12日 (火) 13:15 - 17:30 TRT (3つのセッション)



GNSO: RrSG Membership Meeting – (レジストラ部会)

2024年11月12日 (火) 13:15 - 17:30 TRT (3つのセッション)

レジストリ・レジストラ部会話題



レジストラ部会の主要な話題

2024年11月12日（火）13:15 - 17:30 TRT
(3つのセッション)

- 新登録データポリシーの導入
- 登録データリクエストシステム (RDRS)
- 登録データの正確性及びNIS2指令
- その他の部会内ビジネス



レジストリ部会の主要な話題

2024年11月12日（火）13:15 - 17:30 TRT
(3つのセッション)

- サイバーインシデント報告
- ICANN ポリシーアップデートとディスカッション
- ICANN Orgからのアップデート
 - 予備ベースレジストリアグリーメント
 - RDAPコンプライアンス問題

レジストラ部会 (RRSG)

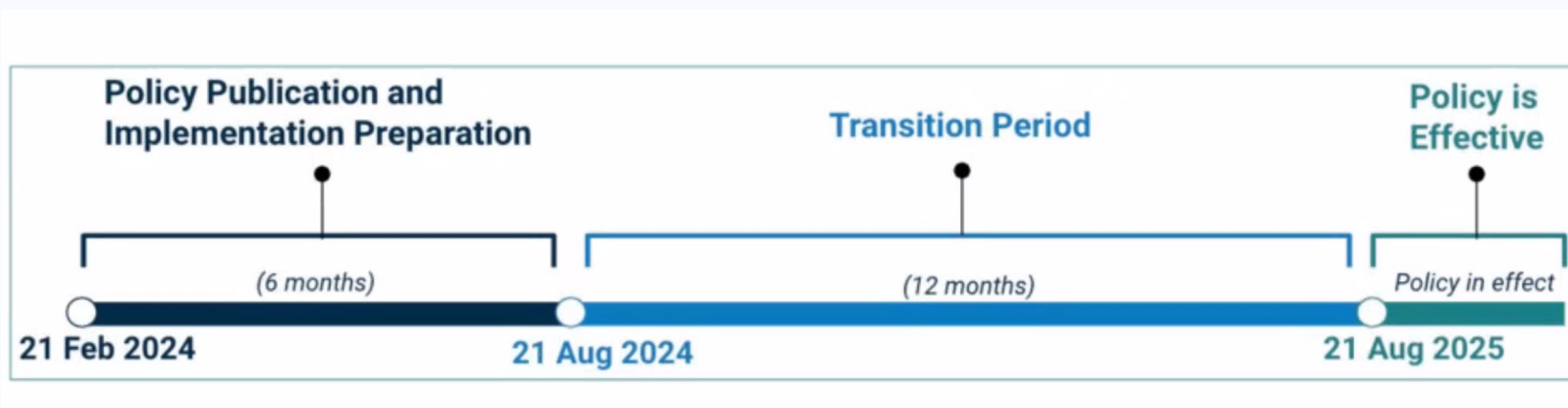
レジストラ部会 (RRSG)

...



登録者データポリシーの導入

- 導入期間:18ヶ月
 - ポリシー公開
 - 6ヶ月のシステム準備期間
 - 12ヶ月の導入期間
- レジストリの36%が要件を提出 (.com/.netを除く)
- レジストラの50%がシステムアップデートの要件を理解している
- レジストラの15%がシステム改修中



レジストラ部会 (RRSG)



登録データリクエストシステム (RDRS)

- 試験運用中のRDRSシステムに関するディスカッションがレジストラ内で行われました。
- 一部のレジストラからは「使いにくい」との声が上がっていました。
- 登録データのリクエスト側に対する教育の必要性を多くのRrSGメンバーが指摘していました。
- パイロット終了後、新たな政策開発が求められる一方で、レジストラ全体への義務化に対する懸念が出ています。

レジストラ部会 (RRSG)



登録者データの正確性及びNIS2指令

- RrSGメンバーは、WHOIS廃止に伴うデータ正確性に関するICANNの提案に懸念を表明。特に、全レジストラに義務化される正確性チェックの範囲と頻度について議論が続いています。
- 実装のコスト、運用の負担や、異なる各国の法律との調整が課題です。
- 登録データの正確性のポリシーの影響を議論するための次回の小グループ会議が予定されています。

NIS2指令

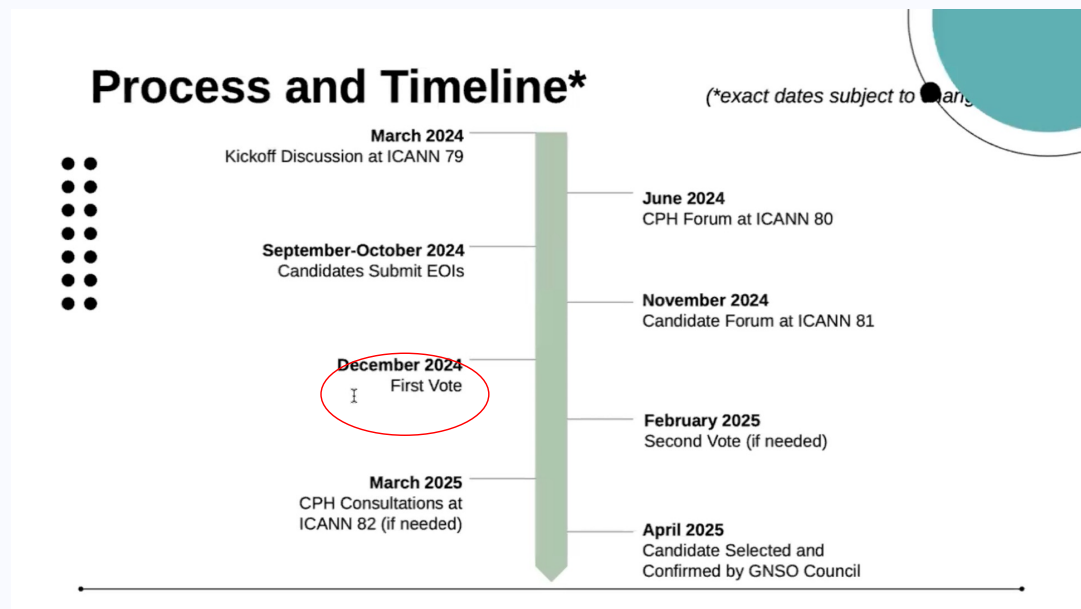
- EUでのNIS2指令は、サイバーセキュリティとデータ共有に関する規制を強化する目的で制定されましたが、加盟国が国内法への転換を完了しておらず、締切を過ぎています。
- データリクエストの正当性を証明するための詳細な手続きが必要になる可能性があるようです。

レジストラ部会 (RRSG)



その他のビジネス: ICANN理事会第13席選出について

- 選挙の時期になってきましたので、新会長、事務担当副会長、技術担当副会長、財務担当、GNSO評議会代表やNomCom代表を募集していました。7月2日までオンライン投票がされていました。
- ICANN理事会第13席選出のプロセスが継続中。



レジストラ部会 (RRSG)



その他の部会内ビジネス:メンバーシップの見直しと提案

- オブザーバープログラム導入検討
 - レジストラ間での連携を強化し、新規メンバーを歓迎するため新規オブザーバープログラムを検討しています。
 - オブザーバーは最大6か月間、メンバー資格を持たない状態での参加を許可し、メーリングリストへのアクセス、一部の小グループ（ワーキンググループ等）への参加、を可能にするプランとなっています。ただし、クローズドセッションやCPH (Contracted Party House) セッションには参加不可。
- Tier制メンバー料金案
 - 小規模レジストラや新興市場のレジストラに配慮し、負担を軽減することが目的。

レジストリ部会 (RYSG)

レジストリ部会 (RYSG)



サイバーインシデントリポート (Cyber Incident Reporting)

- ICANNコンプライアンスのジェイミー・ヘッドランド氏は、重要インフラのためのサイバーインシデント報告法 (Cyber Incident Reporting for Critical Infrastructure Act: CIRCIA) とその影響について引き続き議論しています。
- レジストリとレジストラは、各国の規制が矛盾しないようにするため、ICANN内で統一された報告メカニズムを開発するべきかどうかについて検討しています。
- スモールチームは、データ保管、データ共有、そして報告フレームワークにおけるICANNの役割について調査しています。

レジストリ部会 (RYSG)



ポリシーアップデート

- RPM関連
 - UDRPレビューが6か月遅延する予定です。
- IDN EPDP
 - セカンドレベルドメイン及び技術的一貫性が主な懸念事項であり、LGRの専門家の関与や運用面での影響、特に登録プロセスやバリエーション管理が重要視されています。
- Transfer PDP
 - パブリックコメント期間からのフィードバックをレビューしています。
 - 2025年2月～3月までに最終レポートを完成する予定です。

レジストリ部会 (RYSG)



ポリシーアップデート

- PPSAI (Privacy/Proxyサービス認定プログラム)導入
 - ポリシー導入を検討するチーム (Implementation Review Team (IRT))は、7月初旬に議論を再開しました。
 - 再開してから勧告21までのレビューを完了して、作業を進めています。
- RDRS パイロット
 - パイロットの次の手段はどうか検討する必要があります。パイロット結果と比較すると、SSADが過剰である可能性があります。

レジストリ部会 (RYSG)



ポリシーアップデート

- 新gTLD SubPro関連
 - ベースRAのレビューが進行中で、2024年12月3日までにIRTでのコメントを取りまとめ、12月10日までにICANNに提出予定です。
 - 作業が順調に進んでいますが、RySG内では懸念があり、申請後からTLDのルートゾーン委任までの申請ライフサイクルが長過ぎる可能性が指摘されています。
 - ベースRAに関して多くの課題があり、IRT内では解決が難しいと感じられています。そのため、特定の課題に対してはICANNスタッフと直接協議するチームを設けることが提案されています。

レジストリ部会 (RYSG)



ICANN Orgからのアップデート

- 予備ベースRA関連
 - ICANNスタッフは18の主要なトピックをレビューし、予備のベースRA案を作成しました。
 - バリエーションTLDに関する新しいSpecification 14を導入しました。これにより、様々な条項や仕様に影響が及ぶ可能性があります。
 - Spec 13 (.brand)レジストリによる契約解除条項と支払いプロセスに関して熱く議論され、長期未払いの場合のEBROの取り扱いに関する提案変更の公平性とその適用範囲について議論を引き起こしました。
 - RySGではレガシーTLDと新gTLD間で一貫した基準を求める必要性を強調していました。
 - RySGはレジストリのフィードバックを統合するためのレビュー・チームを形成し、ICANNへコメントを提出して、ICANNはそのフィードバックのレビューを12月10日から実施します。2025年第1四半期までに改善されたベースRAを公開し、パブリックコメントを開始する予定です。

レジストリ部会 (RYSG)



ICANN Orgからのアップデート

- RDAPコンプライアンス問題
 - WHOISは2025年1月28日にサンセット(廃止)する予定です。
 - gTLDの約90%が基本的なRFC準拠に失敗していることが確認されました。
 - レジストリおよびレジストラは、RDAPコンFORMANCEテストツールを活用し、RFC基準への準拠を確保するための対応が求められています。

THANK YOU



お問い合わせ

gTLD@interlink.ad.jp